

緊急課題解決4 働く意欲が生かせる雇用確保プロジェクト

(主担当部局：雇用経済部)

プロジェクトの目標

中小企業の成長支援や新産業の創出、農林水産業の振興等により、雇用の場を創出し、大学・大企業・中小企業・経済団体等との連携により、雇用に結びつく新たな仕組みが構築されています。

求職者に対して、求人ニーズをふまえた能力開発の機会を提供するとともに、求人側と求職側のミスマッチを解消することで、厳しい雇用情勢の緩和が進んでいます。

厳しい若年者の就職状況をふまえ、安定した就労に向けた重点的な支援を行うことにより、若者の不安定な就労状況の解消が進んでいます。

プロジェクトの数値目標

目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
県内労働力人口に占める就業者の割合	/	96.7%	97.0%		97.2%	97.5%
	96.4%	96.6%	—		/	/
本プロジェクトにより支援した人の数	/	29,200人	30,100人		30,800人	31,500人
	28,529人	26,961人	—		/	/

目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方

目標項目の説明	○県内労働力人口に占める就業者の割合 ○本プロジェクトの構成事業のうち、人材育成、就労支援等の事業により支援した人の数
26年度目標値の考え方	○平成27年度においてリーマンショック前(平成19年度)の状況にするという全体目標の中、段階的に目標を達成するよう設定しました。 ○当プロジェクトを構成する様々な事業の目標値を合計しました。

実践取組の目標

実践取組	年次計画のうち 主なもの	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
1 「雇用の場の不足」を産業振興の視点から解決するために	事業参加者の県内企業への就労	/	30人	30人		30人	30人
		—	35人			/	/
	新規就農希望者等への就業・就農支援	/	100人	100人		100人	100人
		—	117人			/	/
	漁師育成機関の整備推進(累計)	/	2か所	3か所		3か所	3か所
		—	2か所			/	/

実践取組の目標							
実践取組	年次計画のうち 主なもの	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
2「求人と求職のミスマッチ」を解消するために	福祉人材センターにおける相談・支援による就職者数		210人	270人		270人	270人
		254人	315人				
3「若者の未就職や不安定な就労状況」を解決するために	県が就労に向けて支援した延べ若年者数		15,750人	16,000人		16,250人	16,500人
		12,470人	14,214人				
	県立高等学校卒業生徒の内定率		97.0%	98.0%		99.0%	100%
		96.8%	96.6%				

進捗状況（現状と課題）

【実践取組1 「雇用の場の不足」を産業振興の視点から解決するために】

- ・緊急雇用創出事業（起業支援型）に取り組むなかで、雇用の維持やマッチングを中心とした従来の雇用政策に加え、地域における新たなビジネスの創出、そして雇用の維持・拡大につなげていくことができました。今後は、国の成長戦略にも呼応し、貴重な人材を成長産業や中小企業に橋渡ししていく雇用政策を産業政策と一体となって展開していく必要があります。
- ・若手経営者等の人材育成（「MIE経営者育成道場」）については、約30名の受講生と合宿研修などを実施し、経験豊富な先輩経営者からビジネスの実践や経営哲学を直接学べる機会を提供しました。今後は、ビジネスプランの作成とブラッシュアップを通じた実践的な経営戦略の修得をめざすとともに、これからの事業拡大に重要となるグローバル化に対応できる人材力や、幅の広い人的ネットワークづくりにも取り組んでいく必要があります。
- ・県内中小企業への人材供給（雇用マッチング）については、就職活動でスマートフォンなどを活用する学生向けに、訴求力のある映像コンテンツづくりを促進しました。今後、この取組を拡大していくとともに、映像コンテンツのSNSでの活用方法なども検討していく必要があります。
- ・農業の担い手の確保については、124名が「みえの就農サポーターリーダー」に登録され、17名の就農希望者等が就農サポートを受けるなど、地域において新規就農・定着に向けた支援が実施されています。取組地域を拡大するため、サポーターリーダーを核として地域全体で新規就農者を受け入れようとする意識の向上や、「みえの就農サポーターリーダー制度」のPRに取り組む必要があります。
- ・水産業の担い手の確保については、就業就職フェア等を通じて、三重県漁業の紹介や漁業就業に係る情報提供を行いました。漁師塾については、昨年度から取り組んでいる1漁協に加え、新たに取り組む1漁協を支援しています。今後は、漁師塾の取組をさらに充実させるため、漁村地区における新規就業者の受け入れや研修体制の構築が課題です。

【実践取組2 「求人と求職のミスマッチ」を解消するために】

- ・求人と求職のミスマッチ解消については、職業訓練をはじめとする人材育成とともに合同企業説明会などのマッチング支援を実施してきました。今後は、雇用形態にかかわらず、能力開発の機会を提供し、キャリアアップを支援し、労働者が安心して生活をおくれるよう、多様な働き方に対応できる能力開発支援について検討を進めていく必要があります。

- ・女性の再就職支援については、託児付きで就労支援相談を実施するとともに、女性自身がスキルアップするための情報を提供する就労支援セミナーを6回開催（138名参加）しました。また、既に社会で活躍している女性の交流を深めるとともに、更なる女性の社会進出と活躍を促進するための仕組みとして、「みえ・花しょうぶ」サミットが発足しました。
- ・「みえ県民意識調査研究レポート」にもあるように、専業主婦等の潜在的な就労ニーズは高いものの、再就職への課題となっている仕事と家庭の両立や仕事のブランクに対する不安等は払拭できていない状況です。そこで、子育て期の女性の就労に関する意識やニーズを把握した上で、キャリア・コンサルティングや技術の習得、企業とのマッチングなど希望する職場への再就職への支援策と、仕事と家庭が両立できる職場づくりへの支援策の両面から充実することが必要です。
- ・10月末現在で、県福祉人材センターが実施する福祉・介護人材の確保事業により209名が介護現場へ就職しました。高齢化の進展により介護施設等の整備が進められる中、今後も引き続き介護人材の確保が必要です。

【実践取組3 「若者の未就職や不安定な就労状況」を解決するために】

- ・若者の未就職等の解決に向けては、おしごと広場みえを中心に、若年求職者向けセミナー、合同企業説明会、大学生向け及び未就職者向けインターンシップ事業等を実施しました。雇用創造懇話会においては、若者の雇用について集中的に議論し、「今ある施策を整理・評価し、優先度や各関係機関との役割分担について整理が必要」、「各機関で取り組んでいる若者就労支援策について、若者に分かりやすい総合的な情報発信が必要」、「長期インターンシップの実施など、若者と中小企業とのマッチングについては、高校、大学、企業、団体等の関係機関との役割分担のもと、連携してオール三重で推進していくことが必要」などの課題が挙げられています。
- ・「みえ県民意識調査」の幸福実感指標のうち、「実感している」との回答割合が最も低かった指標は、「働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」でした。また結婚していない理由について男性は経済的な理由が上位に上がっており、若者が結婚に踏み切れるよう後押しするためにも、若者の就労支援に注力することが重要とされています。効果の高い就労支援のためには、雇用の受け皿である企業団体（ネットワーク）や、求人情報を集約するハローワーク、教育機関等との、より一層の連携・協働が必要です。
- ・高等学校におけるキャリア教育モデルプログラムの作成を進め、キャリア教育の推進体制づくりを行っています。今後も、学校や家庭、地域との連携によるキャリア教育の推進を図っていく必要があります。
- ・多様な主体との連携や就職支援相談員の配置等により、高校生の就職指導に取り組んでいます。今後は、関係機関とより一層連携し、障がいのある生徒や外国人生徒等への就職支援を強化するとともに、新規高等学校卒業予定者の求人や雇用機会の維持・拡大を図る必要があります。

平成26年度の取組方向

【実践取組1 「雇用の場の不足」を産業振興の視点から解決するために】

- ・国とも連携し、県内はもとより我が国の基幹産業である自動車産業やエレクトロニクス産業の産業構造の変化を見据え、大学と連携した研究人材等の育成（寄附講座等）、中小企業等の試作品づくりや次世代技術開発の支援、OB技術人材活用による新分野展開・技術開発の支援、中小企業の魅力体験事業（雇用マッチング）など、「雇用拡大に向けた地域の環境整備」、「中小企業の新分野展開や事業拡大」、「求職者等の人材育成」、「雇用マッチング」を総合的に実施していくことにより、産業政策と一体となった雇用政策を展開していきます。（厚生労働省補助事業：「戦略産業雇用創造プロジェクト」の実施）
- ・県内中小企業への人材供給のためには、インターネットを活用した企業の採用活動を充実させる必要があることから、ホームページの充実、映像コンテンツやSNSの活用方法等の検討を行います。

- ・農業の担い手確保については、「みえの就農サポートリーダー制度」の取組事例を紹介する研修会や農業者との意見交換会などにより、引き続き、新規就農者の受け入れに対する意識の向上に取り組めます。また、市町や農業委員会、農業団体等と就農希望者に関する情報を共有し、ホームページ等による情報発信を行うなど、制度の活用を促進します。
- ・水産業の担い手の確保については、漁師塾のさらなる充実に向けて、市町、漁連、関係団体等との連携を強化し、地域ごとの実情に応じて、若者等が円滑に就労できる体制作りに取り組めます。

【実践取組2 「求人と求職のミスマッチ」を解消するために】

- ・ミスマッチ解消のための人材育成については、キャリアアップの1つとして、企業現場と連携した実践的な職業訓練を充実していきます。また、平成26年度に予定されているハローワークの求人情報データの地方自治体への提供を活用し、職業訓練のメニューの充実等にも取り組んでいきます。
- ・今年度把握する子育て期の女性の就労に対する意識やニーズ等を踏まえるとともに、企業とのマッチングの観点をプラスし、子育て期の女性の離職ブランクを回復するための職場体験なども含めた総合的な支援について、目標を設定して実施し、女性労働力の開発・活用、女性の能力がこれまで以上に発揮できるように取り組めます。また、就労支援とあわせて、仕事と家庭の両立のための働き続けることができる職場づくりに対する支援を行うことで、女性の就労促進を効果的に進めます。
- ・「みえ・花しょうぶサミット」が更なる女性の活躍促進のため、女性経営者を育成する基盤として、更にネットワークを構築し、活動を展開していくよう取り組めます。
- ・福祉・介護の人材確保を図るために、労働局等の関係機関と連携し、県福祉人材センターによる職業紹介などの人材確保事業を効果的に実施していきます。

【実践取組3 「若者の未就職や不安定な就労状況」を解決するために】

- ・若者の未就職等の解決に向けては、雇用創造懇話会の意見をふまえて、労働局、三重県中小企業団体中央会、県内の商工会議所等の関係機関と協議を行い、合同企業説明会等の若者就労支援体制及び施策の見直しを行うとともに、県内外の大学や、雇用の受け皿である企業団体とのネットワークの構築や、求人情報を集約するハローワークとのデータ共有を含め、若者就労支援について、より一層の連携・協働に取り組めます。
- ・県の雇用情報ホームページ「おしごと三重」について、若者目線で再点検し、わかりやすい総合的な情報発信に努めます。また、中小企業の実際の姿や魅力が学生や求職者に十分伝わっていないため、中小企業の魅力発信を支援していきます。
- ・企業と若者の相互理解を深め、企業の採用支援や、産業界で活躍する若者の人材育成につながる県内での多様なインターンシップ事業を、大学、経済団体、労働局等と連携して効果的に実施していきます。
- ・各高等学校におけるキャリア教育プログラムの作成を支援するとともに、インターンシップ等の就業体験の拡充に取り組めます。
- ・関係機関との連携をより一層強めるとともに、高等学校において、就職支援相談員による就職支援を充実すること等により、求人や雇用機会の維持・拡大と、個別の支援が必要な生徒への就職支援の充実を図ります。

主な事業

【実践取組1 「雇用の場の不足」を産業振興の視点から解決するために】

雇用経済部

●戦略産業雇用創造プロジェクト事業

予算額：(25) ー 千円 → (26) 458, 108千円

事業概要：地域における雇用創出を図っていくため、産学官で構成する協議会を設立し、地域の雇用環境の整備や中小企業の新分野展開、求職者の人材育成や就労マッチング等の取組を総合的に支援します。

農林水産部

●農業版就職支援事業

予算額：(25) 2, 160千円 → (26) 1, 620千円

事業概要：農業分野における若年者の就労の場を拡大するため、市町や関係団体等と連携し、「みえの就農サポートリーダー制度」の推進を図るとともに、就農サポートリーダーの育成を行う市町に対して助成を行います。

●漁業版就職支援事業

予算額：(25) 1, 538千円 → (26) 1, 077千円

事業概要：若者などの水産業への就業・就労を促進するため、漁協が取り組む人材育成や就業・就労支援を行う新たな仕組みである漁師塾を、県と系統組織が支援し、拠点モデルの構築を行います。

【実践取組2 「求人と求職のミスマッチ」を解消するために】

雇用経済部

●公共職業訓練事業

予算額：(25) 370, 054千円 → (26) 445, 358千円

事業概要：学卒者、離転職者、求職者を対象として、企業や求職者のニーズを把握しながら、県内産業で活躍する人材を育成するための多様な訓練に取り組めます。

●女性の就労支援事業

予算額：(25) 16, 760千円 → (26) 6, 993千円

事業概要：就労意欲を持つ女性に対しキャリアカウンセリングを実施するとともに、企業とのマッチングの観点を踏まえ、職場体験や女性向けセミナー及び企業向けセミナーを開催し、マザーズ雇用（子育てをしながら就職を希望している方の雇用）などを促進していくなかで、女性の再就職支援に取り組めます。

また、「みえ・花しょうぶサミット」を通じて、女性経営者等の交流の場、異業種交流からのイノベーション形成につながる基盤として活動を展開し、更なる女性の活躍を促進します。

●（新）子育て女性の再チャレンジ促進事業

予算額：(25) ー 千円 → 10,360千円

事業概要：子育て等により一定期間仕事から離れていた女性が、再就職するにあたっての不安（仕事のブランク・スキル面での不安）を解消し、企業にとっても子育て期の女性を新戦力として位置づけられるよう、離職ブランクを回復するための職場実習と、企業ニーズに対応するスキルアップ研修を行い、女性が働きやすい職場環境づくりと女性の再就職を支援します。

健康福祉部

●福祉人材センター運営事業

予算額：(25) 41,768千円 → (26) 52,487千円

事業概要：福祉人材センターに福祉・介護職場にかかる求人・求職情報を集約し、無料職業紹介や福祉職場説明会の実施など、福祉・介護職場での就労を希望する人への相談・支援を行います。

また、離職者等に対し、介護職員初任者研修課程の取得や就労支援を行う育成プログラムを実施します。

【実践取組3 「若者の未就職や不安定な就労状況」を解決するために】

雇用経済部

●企業と若者のマッチングサポート事業

予算額：(25) 21,831千円 → (26) 15,108千円

事業概要：若年求職者、大学生等に対して、三重労働局等とも連携し、「おしごと広場みえ」などを活用して、インターンシップの推進や業界・業種研究セミナーの開催等により、職業観・勤労観を醸成するとともに、雇用関係情報の提供や職業相談等総合的に若者の就労を支援します。また、中小企業の人材確保の視点から、企業の情報発信及び採用活動を支援します。

●（新）若者を求める企業情報発信事業

予算額：(25) ー 千円 → 4,611千円

事業概要：中小企業ならではの魅力について、SNS等で効果的に情報発信するとともに、「三重テラス」を活用したUターンセミナーの開催を通じて、学生等の就業促進と中小企業とのマッチングを通じ、産業界で活躍するための人材育成・確保に取り組みます。

●（新）就職を勝ち取る若者人材育成事業

予算額：(25) ー 千円 → 10,485千円

事業概要：長期インターンシップの普及啓発に取り組むとともに、新たに就職に直結するトライアル・インターンシップを実施し、若者と企業の相互理解による安定就労の促進に取り組み、若者の結婚（出産）などにつなげていきます。

教育委員会

●キャリア教育実践プロジェクト事業

予算額：(25) 13,560千円 → (26) 15,128千円

事業概要：就業体験の拡充、社会で活躍する卒業生等による授業等の実施、高等学校のキャリア教育モデルプログラムの普及、普通科におけるキャリア教育実践研究及び進学指導の充実に取り組み、小中高等学校の各学校段階を通じたキャリア教育の充実を図ります。

●高校生就職対策緊急支援事業

予算額：(25) 26,088千円 → (26) 19,927千円

事業概要：キャリア教育支援協議会において、教育界と産業界・地域が連携したキャリア教育推進に係る方策を検討するとともに、企業等で管理職や人事部門の経験を有する就職支援相談員の配置、就職情報交換会等の開催等により、就職を希望する高校生の進路実現を図ります。